

令和 かわら版

第19号
諏訪形自治会
会長稲垣康史

自治会役員 退任のあいさつ

一年間 ありがとうございました

自治会長 稲垣 康史

「良い人と歩けば祭り、悪い人と歩けば修行」最後の贅女（こぜ）諸国を巡業した盲目の芸能者」と言われた小林ハルさんの言葉です。この言葉を借りると、年中「祭り」、ごくたまに「修行」といった一年間でした。これ以上ないというくらい協議員の皆さんに恵まれ、さらに顧問、相談役、三協議会長はじめたくさんの方の皆さんに助けをいただきました。

昨年末から、一年間必要な活動の見通しや資料、地図の作成など、細かく準備と指導をしてくださったKさん、どうにもならなくなったときに泣きつくといやな顔ひとつせず解決してくれたMさん。細かい相談、文書の校正からやっかいな防犯灯の申請までお願いしたIさん。行事を進めるときに「力になれなくてごめんね」と言いながら細やかに段取りを整えてくれたNさん。防犯・防災を一手に引き受けてきめ細かく連絡、相談をしてくれたKさん。自治会と公民館の密接な連携に向けて尽力してくれたダブルKさんとOさん。はじめ公民館役員の皆さん。まったく気がつかなかった危険や不具合をそつと教えてくれたMさんやKさん。市や県への要望を自分で担当課に伝え「言っておいたから承知だけしておいて」と連絡をくれたMさん（行政への要望はけっこうたいへんです）。水路関係で困って相談すると、いつも現地まで行って丁寧に教えてくれたAさん。顔を合わせるといつも「無理するんじゃないぞ」と声をかけてくれたYさん。まだまだとても書ききれない多くの方々の助けていただきました。ありがとうございました。

さて、「公民館運営審議会の了承をいただいたら」という条件付きですが、来年、私は公民館長を務めさせていただきます。実は十余年の在宅介護が終わった後の地域再デビューは公民館からと思っていました。図らずも自治会が先になってしまいました。ようやく「初志貫徹」と言ったところです。決して、自治会長のと公民館長という流れを作るわけではありませんので、これからも副自治会長を打診された方は安心して前向きにご検討下さい。

今後ともよろしくお願いいたします。

副自治会長 山越 敏雄

何年も前に会計部長を務めさせていただいた以降、自治会活動には全く参加していませんでしたが、いろいろな方から勧められて副自治会長になりました。活動に参加する中で、地域を支えるたくさんの方々と知り合い、自治会長をはじめ協議員のいろいろな方々にも助けていただき何とか一年を過ごすことができました。

来年は重責を担うこととなりますが、改めて大変な役だと実感しています。いろいろなと未熟な私ですが、「楽しく過ごしやすい諏訪形」を目指して頑張りますので、よろしくお願いいたします。

総務部長 加藤 進

恥ずかしながら自治会関係に携わったことがなく右も左も分からないことばかりの私が総務部長の職を無事終えることができましたのも、皆さんの多大なるご協力によるものです。稲垣自治会長、山越副自治会長、後藤会計部長をはじめ他協議員のみなさんにおんぶにだっこの本当に申し訳ありませんでした。ありがとうございました。地域の方々と交流することができたことや、自治会が多くの方に支えられていることを知り感謝に堪えません。本当にありがとうございました。

会計部長 後藤 美佐子

一年間諏訪形自治会の皆様に大変お世話になりました。五月に新型コロナウイルス感染症が五類移行され、感染対策をして規模は縮小しての数々の行事を再開し以前のように活気が戻りました。協議員は月二回の会議で準備をして運営しました。リーダーの自治会長さん、副自治会長さんと十名の役員さんで意気投合して行えました。

特に二十五年前に公民館役員が一緒だった荒井さんと会議の席が隣で相談できました。荒井さんがいてくれたので体調が悪い時助けてもらったり楽しい役でした。

会計部長としても、自治会長さんにアドバイスいただき大切なお金を預かって無事最後まで管理できそうです。自治会のことを色々知れて勉強になりやりがいを感じられました。主人には月末日曜日の早朝、資源回収の登板をやってもらい、沢山の方々に協力いただき誠にありがとうございました。

広報部長 荒井 誠（茂子）

一年間ありがとうございました。自治会長、副自治会長、協議員の皆様、ブロック長そして関係者の方々、この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

広報を担当させていただきました。資源回収は主人が行いました。月最低六回公民館に足を運びました。幸い家が近いので良い運動と思い通いました。

一年間協議員会の日を毎日意識していました。大変だとは思いますが、ちょっとしたストレス感じてたのかなと思います。でも得る事もたくさんあり感謝しています。実はこの作文が一番大変な作業でした。

生活環境部長 小林 輝雄

長いようで短い一年間でした。初めての役員なので、諏訪形の皆様に満足に行くようなお手伝いができたかどうか分かりません。この一年間ありがとうございました。

土木部長 塚田 泉子

協議員、土木部長はじめのことなので、とても不安でした。家庭の事情もあり大変なスタートでしたが、地域のこと色々知ることができ、良い経験ができました。一年間、ありがとうございました。

社会部長 山部 信哉

社会部長並びに協議員をお引き受けしてから、早いものでもう一年が経過します。

自治会のことをほとんど知らない中での就任でしたが、自治会長、副自治会長、その他部長にも協力をいただきながら、また、ブロック内ではブロック長、隣組長、自治会員の皆さんにご支援いただき活動させていただけたことを感謝しています。地域交流活動としては「マレット大会」などが開催でき、また、最大の行事である「上田わっしょい」への参加は城下小学校百五十周年事業の年と重なったため参加が見送られたものの、近隣自治会の夏祭りが中止となるなか、公民館

への自治会協力の形での夏祭りの開催は、ここ数年のコロナ禍のなか制限されていた皆さんにも喜ばれた自治会活動の一つになったのではないかと思います。何はともあれ忙しい一年でしたが、私自身も良い経験をさせていただきました。今後とも地区の一員として協力していくことが出来ればと思います。一年間ありがとうございました。

安全部長 滝沢 日出男

初めての自治会活動は自治会長のご助力と協議員各氏の人柄にすぎるばかりではありましたが何とか大きな問題を起こさずに任期の一年を迎えられようとしています。

地域の様々な行事や問題に接して考えさせられ、戸惑いながらも個人的には意義ある一年を重ねられました。しかし地域への貢献度には疑問の残る思いであります。一年間ご協力ありがとうございました。

管理部長 柳澤 岳

最初、協議員にお声がけ頂いた時は、本当に嫌だなあと思いましたが、やってみるとそこまで嫌ではありませんでした。意外とやりがいがあるって、地域と自治の大切さを学びました。一段と地元に着がけが沸きました！また、色々な方々と交流が持てて貴重な体験をさせていただきました。

福祉部長 新村 正明

令和五年度の福祉部長を務めさせていただきましたが、十二月を持ちまして退任となります。何かと至らない点もあり、皆さまのお力添えを賜り、無事に一年間務めることができました。心から感謝申し上げます。一年間自治会の仕事に参加いたしまして、色々な生活の周りの事が知ることができました。

今年コロナが五類に引き下げられ、三年前の生活に戻りつつありますが、お年寄りの重症化率は高いので、寿賀の会は中止となりました。早く元の生活に戻りますよう祈る次第です。また、次年度自治会の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

地域部長 小林 照幸

何とかわからないまま、協議員と地域部長を引き受けてしまいました。自治会長や副自治会長、他の協議員の皆さんに助けていただきながら、何とか一年過ぎていったと思います。大変なこともありましたが、草刈りや夏祭り等、楽しい思い出たくさん出来ました。皆さん、ありがとうございました。

生活環境部員の皆さん、各ブロック長さん、隣組長の皆さん、そして諏訪形自治会会員のすべての皆さん、一年間ご協力いただき、たいへんありがとうございました。



ついに終了！ 空き家の環境美化活動

諏訪形まちづくり協議会の今年の大事業「空き家の環境美化活動」がようやく終了しました。二月五日の樹木伐採から十一月十八日の終了まで計七回（二月五日・四月十五日・五月十三日・六月十七日・七月二十二日・十一月四日・十一月十八日）、延べ百人近い方々のご協力をいただきました。たいへん過酷な作業でしたが、その活動の様子を最終日の報告で、多少なりとも感じ取っていただければ幸いです。



十一月十八日、秋晴れ。午前八時の集合時刻より二十分も前に現場に到着して作業に取りかかったのが小林輝雄さんです。いつも定刻よりだいぶ前に来て、黙々と作業をされている方です。次に来たのが窪田和人さん。樹木の処分からはじまって、燃やせるものは焼却炉で大量に処分してくれました。いつも作業後には、大量の可燃物を相当な時間をかけて燃やしてくれました。大活躍した窪田和人邸の焼却炉にも感謝です。

八時にはボランティアの皆さんが次々に集まってきて、作業が進みます。「みんな早いねえ」と言いながら現れたのが宮下省二諏訪形まちづくり協議会長。上田市廃棄物対策課との調整から当日の通知まで、全体を統括していただきました。

細川信さんが都合が悪いからと参加してくれた細川智子さんには、山越敏雄副自治会長が作業の段取りを説明しています。前回は、所用で東京に行く前、「三十分だけでも」と参加してくれた山越さんは、今回はフルに参加できると張り切っています。「雑誌と金属は俺が業者運んでおくから」と声をかけてくれたのは宮下修身さん。ゴミを入れる袋の調達から業者に出せるものの処分まで、作業の前後にもご尽力いただきました。「十円見つけ！」と声を響かせたのは柳澤公一さん。この方がいると現場がパツと明るくなります。その脇では、細川義雄さんと窪田博幸さんがピッチを上げて作業を進めています。

「ジャンパーここに置いておくからゴミの袋に入れないで！」と、最前線でゴミを掻き出していた窪田善雄さん、あまりの重労働に一枚脱いだようです。が、積み重なっていくゴミの山に不安を感じたらしく、

く、十分後にはジャンパーを遠くに避難させていました。「スプレー缶は空き缶と別にしてないとだめだ！」と、いつもながらの厳しいチェックをしているのが金井保芳さん。

作業開始から二時間半、ようやく作業が終わり、柳澤實さんが小屋の入り口の戸を作って、

はめ込んでくれました。さすがに名人の技です。最後に記念撮影をして、ようやく終了です。お疲れ様でした。



なおこの事業を実施するにあたり、上田市の廃棄物対策課長春原さん、廃棄物指導係長吉澤さんにはたいへんなご理解とご支援をいただきました。特に、吉澤係長にはゴミの山の片付けにたいへんご尽力をいただいたことを報告します。ありがとうございました。

（投稿：自治会長 稲垣康史）

さつまいもの収穫作業

十一月十九日、春に「旧坪八農園」に植えたさつまいもの収穫作業を行いました。この畑は「さつまいもの会（諏訪形まちづくり協議会）」が故久保田忠男さんのご厚意で貸していただいているものです。



当日は好天に恵まれ、早朝から会員十数名が鍬やスコップを持って収穫作業を行いました。畑の土が硬く、なかなかたいへんな作業となりました。が、一時間弱の作業で大小合わせて三百個近くのサツマイモを収穫することができました。



グラウンドゴルフ体験会

ーグラウンドゴルフ同好会会長の大林正樹さんから

ご投稿をいただきましたー

九月十五日発行の「諏訪形かわら版」で諏訪形グラウンドゴルフ同好会の活動内容を知っていただきました。その中で会員を増やすための手段として、自治会員の皆さんにグラウンドゴルフの楽しさを知っていただく「体験会」を開催したいと述べました。

九月末になり、体験会を開くための準備を始めました。まず、同好会の顧問である宮下省二市議会議員、諏訪形自治会長、諏訪形公民館分館長、諏訪形シニアセンターの会長の各位に趣旨の説明を行い、賛同を得ました。次に「体験会」の内容を知らせ、参加者を募集するため、自治会にお願いして他の配布物に併せ、回覧をしていただきました。締め切りの日が近づいても応募者がなく、開催が危ぶまれましたが、会員の皆さんが知人、友人に声をかけて何とか開催にこぎつけました。

十月二十九日の体験会には会員八名、体験者十二名の計二十名が集まりました。参加者の年齢を見ると、十歳の小学四年生から八十六歳の高齢の方までとなっており、まさに老若男女の集まりでした。このことは、グラウンドゴルフは誰にでもできるスポーツだと言えると思います。

体験会は四名一組で五組に分かれて行いました。各組に会員が付き、指導をしながらプレーをしました。初めは戸惑いながらのプレーでしたが、だんだんに慣れてきて笑顔や笑い声が飛び交い、最終ラウンドではホールインワンが出るなど、すばらしいプレーの続出でした。

参加者は今回の体験会を通じて、グラウンドゴルフは誰にでも簡単に取り組むことができるスポーツだということがわかったようで、時間があれば例会に参加したいと話しておりました。この体験会を経験した方がグラウンドゴルフのおもしろさ、楽しさを口コミで広げることにより、次回体験会も大勢の参加者が集まることを願っております。



「諏訪形令和かわら版」をご愛読いただき、ありがとうございます。来年もよろしく願っています。

（投稿：副自治会長 山越敏雄）